

# 【新入生オリエンテーション説明資料】

## 工学部専門教育ガイダンス (編入学生)

2024年度

学務部 教務課 教務(工学)担当

2

### 【重要な配布物】

↓学生便覧



学生便覧は卒業まで必ず保管すること！

↓授業時間割表

【専門教育科目】		2024年度 前期
<b>授業時間割表</b>		
<b>期限厳守</b>		
Web履修科目登録期間	4月8日(月) 9:00~4月9日(火) 18:00	(学生ポータル「履修登録」から各自で登録)
履修科目登録確認・修正期間	4月18日(木)~4月19日(金) 17:00	(申請方法は、学生ポータル「お知らせ」から通知)
履修取り消し期間	4月22日(月)~4月26日(金) 17:00	(申請方法は、学生ポータル「お知らせ」から通知)
<small>※履修・履修取り消しは入学前に行ってください。1年次履修登録は、各自で学生ポータルからのログインをお願いします。</small>		
<small>工学部科目・他学部科目・他コース科目は、学生ポータルの「履修登録」から申請できません。詳細については、別途、学生ポータルの「お知らせ」から通知しますので、確認してください。</small>		
福井大学工学部		

これらの資料は4/4の新入生オリエンテーションの際に配布します。

3



# 課程表の見方①(機械・システム工学科を例に)

①授業科目には  
・共通教育科目と  
・専門教育科目がある。

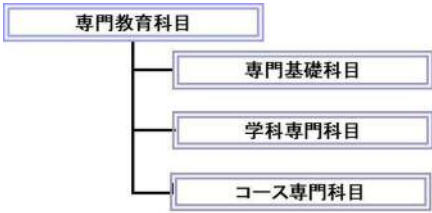
機械・システム工学科 専門教育課程表

区分	科目名	単位数			毎週授業時間数 (配当年次)								備考					
		機械工学コース		ロボティクスコース	原子力安全工学コース		1年		2年		3年			4年				
		必修	選択	必修	必修	必修	前	後	前	後	前	後		前	後			
共通教育科目	大学教育入門セミナー	2		2		2												
	(第1)外国語科目(英語)	6		6														
	情報処理基礎科目	2		2														
	基礎教育科目小計	8		8														
専門基礎科目	地域コア科目履修	6		6														
	教養教育科目履修	8		8														
	自由選択履修	4		4														
	共通教育科目小計	18		18														
	共通教育科目小計	28		28														
専門基礎科目	微分積分Ⅰ	2		2														
	線形代数Ⅰ	2		2														
	物理学A(力学)	2		2														
	微分積分Ⅱ	2		2														
	線形代数Ⅱ	2		2														
	コンピュータ入門	2		2														
	コンピュータ演習		1		1								2					
	物理学実験		2		2								4					
	応用数学A(微分方程式)	2		2										2				
	応用数学B(フーリエ解析)	2		2											2			
	応用数学C(ベクトル解析)		2		2										2			
	物理学B(電磁気学)	2		2											2			
	物理学D(熱・波・光)		2		2										2			
	応用数学D(複素関数論)		2		2											2		
	応用数学E(線形・統計)		2		2											2		
	応用電磁気学		2		2											2		
	工業日本語Ⅰ		2		2											2		留学生対象科目
	工業日本語Ⅱ		2		2											2		留学生対象科目
	工業日本語Ⅲ		2		2											2		留学生対象科目
	工業日本語Ⅳ		2		2											2		留学生対象科目

共通教育科目については  
動画で詳しく説明されています。  
履修登録システムの使い方  
なども詳しく説明されていますので、  
共通教育科目が全て単位認定されて  
いる場合でも、必ず視聴してください。  
この資料では専門教育科目について  
説明しています。

# 課程表の見方②(機械・システム工学科を例に)

②専門教育科目の中にも区分がある。



※物質・生命化学科と 応用物理学科には  
コース専門科目の区分なし

▼履修をする際、  
自分の受ける授業科目が  
どこに属するか確認すること。

▼他学科等の科目を履修する際、  
「専門基礎科目」  
を履修しても卒業に必要な単位  
とはならない。

専門基礎科目	応用数学C(ベクトル解析)	2		2		2		2		2									
	物理学B(電磁気学)	2		2		2		2		2									
	物理学D(熱・波・光)		2		2		2		2										
	応用数学D(複素関数論)		2		2					2									
	応用数学E(線形・統計)		2		2						2								
	応用電磁気学		2		2							2							
	工業日本語Ⅰ		2		2							2						留学生対象科目	
	工業日本語Ⅱ		2		2							2						留学生対象科目	
	工業日本語Ⅲ		2		2							2						留学生対象科目	
	工業日本語Ⅳ		2		2							2						留学生対象科目	
学科専門科目	機械・システム工学科概論Ⅱ	2		2		2		2		2									
	解析力学	2		2		2		2		2									
	機械材料Ⅰ		2		2		2		2										
	電気工学概論		2		2		2		2										
	計測工学基礎		2		2					2									
	製図基礎		2		2						2								
	材料科学概論		2		2						2								
	生物システム入門		2		2						2								
	計算機システム		2		2						2								
	材料力学Ⅰ		2		2						2								
コース専門科目	加工学Ⅱ			2															
	メカトロニクス			2															
	機械工学実験Ⅰ			1														3	
	機械要素設計Ⅱ			2														2	
	トライボロジー			2														2	
	内部機構工学			2														2	
	生産システム工学			2														2	
	機械工学コース科目小計		6		12											2	6	5	6
	ロボット工学基礎実験Ⅰ				1													3	
	応用電気電子回路				2													2	
	デジタル回路				2													2	
	ロボットプログラムⅠ				2													2	
	生物とロボット				2													2	
	機械雑論				2													2	
	ロボット工学基礎実験Ⅱ				1													3	
	ロボットプログラムⅡ				2													2	
	グラフィクスと認知				2													2	
	人工知能論				2													2	
	ものづくりを支える科学				2													2	
	制御システム論				2													2	

# 課程表の見方③(機械・システム工学科を例に)

③各科目の“単位数”

④各科目の開講時期と1週間当たりの授業時間数。  
 ・各学年の『前』は前期(4~9月)、『後』は後期(10~3月)に開講される。  
 ・数字は、1週間あたりの授業時間数。  
 『2』の場合は、週当たり1コマ90分の授業を表す。(別途事前事後学習が必要です。)

機械・システム工学科 専門教育課程表

区分	科目名	単位数			毎週授業時間数(配当年次)								備考	教職課程 コース			
		必修 修	選択 修	必修 修	1年		2年		3年		4年						
					前	後	前	後	前	後	前	後					
専門 教育 科目	微分積分Ⅰ	2	2	2	2	2											
	線形代数Ⅰ	2	2	2	2	2											
	物理学A(力学)	2	2	2	2	2											
	微分積分Ⅱ	2	2	2	2	2											
	線形代数Ⅱ	2	2	2	2	2											
	コンピュータ入門	2	2	2	2	2											
	コンピュータ演習	1	1	1	1	1											
	物理学実験	2	2	2	2	2			4								
	応用数学A(微分方程式)	2	2	2	2	2											
	応用数学B(フーリエ解析)	2	2	2	2	2											
	応用数学C(ベクトル解析)	2	2	2	2	2											
	物理学D(熱・光)	2	2	2	2	2											
	物理学D(熱・光・波)	2	2	2	2	2											
	応用数学D(線形代数)	2	2	2	2	2											
	応用数学E(確率・統計)	2	2	2	2	2											
応用線形代数	2	2	2	2	2												
工業日本語Ⅰ	2	2	2	2	2												
工業日本語Ⅱ	2	2	2	2	2												
工業日本語Ⅲ	2	2	2	2	2												
工業日本語Ⅳ	2	2	2	2	2												
学際実験・実習Ⅰ	1	1	1	1	1					3							

⑤各科目には必修、選択必修(MS学科以外)、選択という区分がある。  
 ・必修科目 ⇒ 必ず履修しなければならない科目  
 ・選択科目 ⇒ 各自が選んで履修する科目  
 (MS学科以外は選択科目の中でも、選択必修、選択に分かれる)

⑥『工業日本語Ⅰ~Ⅳ』は留学生しか受講できない。

(例) 『応用数学E(確率・統計)』 ⇒ 機械工学コースとロボティクスコースは必修、原子力安全工学コースは選択科目で2単位の科目 2年生の後期に1コマ90分で開講される。

## 卒業要件, 卒業研究着手要件を満たす単位について

■ 学科毎に指定のページを確認してください。

- 機械・システム工学科 ... P130~131
- 電気電子情報工学科 ... P134~135
- 建築・都市環境工学科 ... P138~139
- 物質・生命化学科 ... P142
- 応用物理学科 ... P145

機械・システム工学科卒業要件、卒業研究着手要件を満たす単位の条件

1. 卒業要件	卒業要件
コース	上記の条件を満たすより合計 124 単位以上を履修する。 必須教育科目：卒業に必要な 28 単位 専門教育科目：以下の①~④の条件を満たして 96 単位以上 ① 卒業研究 6 単位 ② 必修 40 単位(卒業研究 6 単位を除く) ③ 選択 24 単位以上 ④ 所属するコース以外の自然科学関連科目は 30 単位まで認めることができる。 ⑤ 所属する学科以外の工学関連科目(専門基礎科目以外)は以下の条件の下で 30 単位まで認めることができる。 ・自然科学の専門教育課程表にないこと ・担当教員の承認を得ること ・同様の科目は 1 科目のみであること
ロボティクスコース	上記の条件を満たすより合計 124 単位以上を履修する。 必須教育科目：卒業に必要な 28 単位 専門教育科目：以下の①~④の条件を満たして 96 単位以上 ① 卒業研究 6 単位 ② 必修 40 単位(卒業研究 6 単位を除く) ③ 選択 24 単位以上 ④ 所属するコース以外の自然科学関連科目は 30 単位まで認めることができる。 ⑤ 所属する学科以外の工学関連科目(専門基礎科目以外)は以下の条件の下で 30 単位まで認めることができる。 ・自然科学の専門教育課程表にないこと ・担当教員の承認を得ること ・同様の科目は 1 科目のみであること
原子力安全工学コース	上記の条件を満たすより合計 124 単位以上を履修する。 必須教育科目：卒業に必要な 28 単位 専門教育科目：以下の①~④の条件を満たして 96 単位以上 ① 卒業研究 6 単位 ② 必修 40 単位(卒業研究 6 単位を除く) ③ 選択 24 単位以上 ④ 所属するコース以外の自然科学関連科目は 30 単位まで認めることができる。 ⑤ 所属する学科以外の工学関連科目(専門基礎科目以外)は以下の条件の下で 30 単位まで認めることができる。 ・自然科学の専門教育課程表にないこと ・担当教員の承認を得ること ・同様の科目は 1 科目のみであること

【学生便覧】卒業要件、卒業研究着手要件を満たす単位について

## ■「1. 卒業要件」について

(全学科共通)

124単位以上

→共通教育科目 28単位＋専門教育科目 96単位

専門教育科目96単位の内訳は学科・コースにより異なる。  
※自分の学科・コースの要件を熟読すること！

他学科や他コースを履修する場合、「専門基礎科目」以外の科目を履修可能です。(別途申請が必要)

ただし、専門基礎科目でも、線形代数、微分積分、応用数学が不可になった場合、翌年の再履修で他学科を受講できる場合もある。(P158参照)

10

【学生便覧】卒業要件、卒業研究着手要件を満たす単位について

## ■「2. 卒業研究着手要件」について

卒業研究(卒業前の1年間要実施)を始めることができる条件

3年終了時に判定 (編入生の場合、編入学1年後)

→要件を満たしていないと卒業研究を始めることができない

→2年間で卒業ができない。

自分の学科の着手要件を熟読し、把握しておくこと！  
まずはこの「卒研着手要件」と照らし合わせ、  
自身の認定単位を要把握。

次のスライドで以降で説明する方法で自分の状況を把握しましょう。 11

# 卒業要件、卒業研究着手要件を満たす単位について

## ▼単位修得状況確認表を活用してください！

「単位修得状況確認表」とは・・・

- ▼自身の単位修得状況を入力すると、卒業研究着手要件及び卒業要件を満たしているかを自動で判定できるエクセルファイルです。
- ▼共通や専門、コースなどの科目区分について、不足単位数や未修得科目名が表示されるので、内容を確認し、次学期の履修登録の際に活用することができます。
- ▼「単位修得状況確認表」は、学生ポータルから各自でダウンロードして使用します。(次のスライド参照)

4/4の教務課ガイダンス等より後に実施される「学科別履修指導・懇談」時に、認定単位(見込み)が教員より示される予定です。その内容をもとに、単位修得状況確認表エクセルを入力し、今年度どの単位を積み重ねる必要があるかを必ず確認してください。

12

# 単位修得状況確認表のダウンロードについて

## ●ダウンロード方法:

「学生ポータル」→「リンクメニュー」の「単位修得状況確認表(工学部)」をクリックし、自分の学科の単位修得確認表をダウンロードしてください。パスワードもポータルで示されています。



単位修得状況確認表の詳細な使い方等については、各学科の指示に従ってください。また、結果の見方がわからない時には、入力したエクセルを見れるPC持参で教務課まできてください。

13

# 学科試験について

学生便覧 P123 第8条

## ■ 学期末に行う定期試験について

- 授業の3分の1以上を欠席した者は、試験を受けることができない。

※「3分の1欠席して良い」わけではないので注意してください。

- 講義...15回 5回以上の欠席の場合、試験は受けられない。

定期試験は、通常の授業時間とは異なる時間帯・教室で行う場合があります。

詳細は試験期間前に学生ポータルより「試験時間割表」を開示しますので、

必ずお知らせを確認してください。

<参考>

### ■ 「追試験」制度

病気その他やむを得ない事情により正規の試験を受けられない場合、試験を受ける制度。

2週間以内に授業担当教員と助言教員の承認を得て追試験願を教務課へ提出する。

### ■ 「再試験」制度

試験を受けて不合格となった科目を再履修せずに、次年度の学期末に試験のみ受ける制度。

履修登録期間に別途申請をしなければいけない。

14

# 成績評価について

学生便覧 P75

## 福井大学における成績評価基準等に関する規程<sup>より抜粋</sup>

(成績評価基準)

第3条 成績評価基準は、次の各号に定めるとおりとし、評価(評語)が秀, 優, 良, 可, A+, A, A-, B+, B, B-, C+, C, C-, D+, D及びD-を合格, 不可及びFを不合格とする。

### (1) 5段階評価の場合

評価 (評語)	GP	評価基準	評価点
秀	4	目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をあげている。	100点~90点
優	3	目標を十分に達成している。	89点~80点
良	2	目標を概ね達成している。	79点~70点
可	1	目標を最低限達成している。	69点~60点
不可	0	目標を達成していない。	59点~0点

GPA(グレード・ポイント・アベレージ:成績を数値化したもの)についても記載されていますのでご一読ください。

15

# Webシラバスについて

シラバスとは:各授業の担当教員や授業内容、授業形式、成績評価の方法等が明記されたもの

**「福井大学 シラバス」と検索!!**

授業の科目名や担当教員の名前を入力して検索ボタンをクリック。

## 学生個人の時間割

履修登録後、自身の時間割に表示される「S」マークをクリックすることで、シラバスを見ることができます。

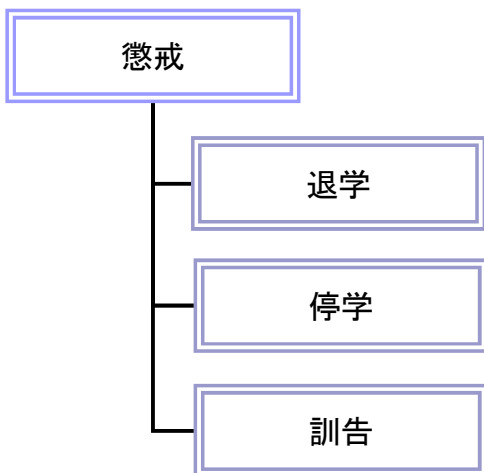
教員の連絡先もこちらから確認できます。

学修番号	月	火	水	木	金																				
1		[B2017]科学技術と倫理 MS (奥生 伸) 共用_K310		[B1011]健康科学-放射線物理 (安徳 博) I1_133L	[G1130]細胞基礎 (木田 貴士) I1_111M																				
2	[G1120]線形力学 (a) (伊藤 慎吾) 総1_大2講	[B2081]経済学C-1経済学の基礎理論 (藤田 健志) I1_115M		[G1126]機械:システム工学初級Ⅱ (M) (植原 雅博) 共用_K110	[G1106]微分積分Ⅱ (a) (木田 貴士) 共用_K110																				
3	[G1108]線形代数学Ⅱ (a) (福島 啓悟) 共用_K110			[B1089]英語Ⅳ MS:Ⅰ (KOBATA Laura) 教1_101講																					
4	[B1061]英語Ⅲ MS:Ⅰ (KOBATA Laura) 教1_101講	[G1110]コミュニケーションⅡ (小崎 知宏) 総1_大1講		[G1122]電気工学概論 (a) (山田 泰弘) I1_111M																					
5	<table border="1"> <tr> <td>授業科目名</td> <td>[G1100]微分積分Ⅱ (a)</td> <td>単位数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>担当教員名</td> <td>前期 (1年、2年、3年、4年)</td> <td>期1/期2</td> <td>主/1</td> </tr> <tr> <td>授業区分</td> <td>遠隔授業</td> <td>科目履修権</td> <td>専門(工学部)履修-システム工学部</td> </tr> <tr> <td>担当教員 (E-mail, 担当科目)</td> <td>(内藤) 小崎 知宏, オフィスアワー: 実務経験の科-第1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>お問い合わせ</td> <td colspan="3">Eメール: hoga@qur.fukui.ac.jp, 問合せ時間(11月)1104_月16:30-18:00</td> </tr> </table>					授業科目名	[G1100]微分積分Ⅱ (a)	単位数	2	担当教員名	前期 (1年、2年、3年、4年)	期1/期2	主/1	授業区分	遠隔授業	科目履修権	専門(工学部)履修-システム工学部	担当教員 (E-mail, 担当科目)	(内藤) 小崎 知宏, オフィスアワー: 実務経験の科-第1			お問い合わせ	Eメール: hoga@qur.fukui.ac.jp, 問合せ時間(11月)1104_月16:30-18:00		
授業科目名	[G1100]微分積分Ⅱ (a)	単位数	2																						
担当教員名	前期 (1年、2年、3年、4年)	期1/期2	主/1																						
授業区分	遠隔授業	科目履修権	専門(工学部)履修-システム工学部																						
担当教員 (E-mail, 担当科目)	(内藤) 小崎 知宏, オフィスアワー: 実務経験の科-第1																								
お問い合わせ	Eメール: hoga@qur.fukui.ac.jp, 問合せ時間(11月)1104_月16:30-18:00																								

**授業を受ける前に、必ずシラバスで授業内容を確認すること!!**

# 懲戒処分について

学生便覧P59 第64条



第64条に該当する場合・・・処分される。

不正行為(カンニング・盗作等)をした場合・・・

試験中のスマホ閲覧、レポートのコピー等も該当します。

**懲戒処分の他、同時期に修得した単位が無効となります!!!**

学生便覧P157 参照

(10)試験時の不正行為に係る単位の取扱いに関する申合せ を熟読ください。



## ▼各学期の履修単位数の制限に関する取り扱いについて

- 各学期に履修することのできる共通教育科目及び専門教育科目の単位数(学生便覧P157)

1年次の各学期 30単位以内  
2~4年次の各学期 24単位以内

### 【注意】

- ・集中講義や再試験科目は含まない。
- ・2年生以上について、累積GPAが2.50以上の場合、4単位まで上限を超えて履修できる。
- ・その他、やむを得ない事情があると学科長が認めた場合は、上限を超えて履修できる。  
※わからないときは、教務課まで問い合わせてください。

## (参考)▼各年次における標準的な修得単位数について(学生便覧P157)

各年次において年間に修得すべき標準的な単位数は、次のとおりとする。

学 科	コ ー ス	(単位:単位)				合 計
		1年次	2年次	3年次	4年次	
機械・システム工学科	機械工学コース	46	44	25	10	124以上
	ロボティクスコース	41	42	32※1	10	124以上
	原子力安全工学コース	44	42	28	10	124以上
電気電子情報工学科	電子物性工学コース	43	37	32	12	124以上
	電気通信システム工学コース			32	12	124以上
	情報工学コース			36※2	8	124以上
建築・都市環境工学科	建築学コース	49	38	29	8	124以上
	都市環境工学コース		41	26	8	124以上
物質・生命化学科	全コース共通	42	40	36	9	124以上
応用物理学科	-	45	43	28	8	124以上

※1 114単位から2年次までの累積修得単位数を減じた数まで減じることができる。

※2 116単位から2年次までの累積修得単位数を減じた数まで減じることができる。

18

## ▼教育職員免許について

- 所定の単位を修得→理科又は工業の高等学校教諭免許状を取得可能。

### 【工業免許】

→ 機械・システム工学科  
電気電子情報工学科  
建築・都市環境工学科

### 【理科免許】

→ 物質・生命化学科  
応用物理学科

**編入学生が教員免許取得を目指す場合には、4/4のオリエンの日に申し出てください!**

学生便覧P146~P149「教育職員免許取得方法」を参照

## ▼父母等への成績送付について

- 対象:工学部全学科, 全学年(留学生を除く)
- 送付時期:前期分・・・10月下旬頃  
後期分・・・4月下旬頃

特別な事情があり送付を控えてほしい場合は、教務課教務(工学)担当まで申し出てください。

19

# 授業時間割表について



← 授業時間割表

毎学期  
必読！

- P2~4: 履修登録の方法やスケジュール **<要確認>**
- P5: クラス分け情報 (対象者は別途確認してください)
- P6: ステップアップ関係 (編入生は対象外)
- P7: 授業実施方法・遠隔授業について **<要確認>**
- P8: ふくい地域創生士
- P9~16: 各学科毎の時間割 **<自学科の部分のを要確認>**
- 最終ページ: 授業日程 **<要確認>**

20

# 履修登録について

- 授業を受けるためには、必ず「履修登録」を行います。

## 【共通教育】

## 【専門教育科目】

Web履修登録期間	4月3日(水)-5日(金)	Web履修登録期間	4月8日(月)-9日(火)
履修登録の確認日	4月8日(月)	履修登録の確認日	4月10日(水)
登録・修正/取消期間	4月10日(水)-16日(火)	追加登録・修正期間	4月18日(木)-19日(金)
履修追加登録日	4月17日(水) (共通教育科目のみ)	取消のみ可能期間	4月22日(月)-26日(金)

- ・履修登録は、①共通教育 ②専門教育科目を、**前期・後期** ともにそれぞれ必ず行うこと。
- ・すべて**期限厳守!** インターネットに繋がっているPCならどこからでも登録可能です。

※ 学生ポータルの詳細な使用方法については、共通教育科目の履修登録説明の動画を確認してください。

21



## 副専攻について

福井大学工学部では、自身の主専攻に加え、本学の特色である「原子力安全工学」と「経営・技術工学」を体系的なカリキュラムで学ぶことができる副専攻を設置しています。所属する学科・コースの卒業要件に加え、副専攻の修了要件を満たした者には、副専攻修了証が学長名で発行され、学位記授与の際に渡されます。興味のある方は、ぜひ目指してみてください。詳細は、オリエンテーションWebページの動画をご覧ください。

<https://www.eng.u-fukui.ac.jp/orientation/> 「副専攻について」参照

### ■ 原子力安全工学基礎コース

(担当教員: 桑水流 教授)



### ■ 経営・技術革新工学コース

(担当教員: 竹本 教授)



24

## 授業が始まる前に確認すること！！

- 「共通教育」「専門教育科目」の履修登録を行うこと。
- 学生ポータルでのメール転送設定を必ず行うこと。
- 学生証を教務課まで取りに来ること(4/5金, 4/8月, 4/9火)
- 1日1回は学生ポータルのお知らせやメッセージを確認すること。
- 授業欠席等の連絡は自身で行うこと。

(教員の連絡先はシラバスに掲載あり。載っていない場合は教務課へ相談すること)

- 講義室等配置図で場所を確認する。遠隔授業の準備
- 時間割表の最後のページにある「授業日程」を把握すること。
- 履修登録について分からないことがあれば教務課へ！

教務課の 連絡先	◆専門教育に関すること 教務(工学)担当	Tel: 0776-27-8601(平日9:00-17:00) Mail: kyoumu-eng@ml.u-fukui.ac.jp
	◆共通教育に関すること 学務総務・共通教育担当	Tel: 0776-27-8627(平日9:00-17:00) Mail: kyoumu-kk@ml.u-fukui.ac.jp

25